

科目区分	専門分野	履修学年	2 年前期	単位数	2	時間数	30
科目名	地域・在宅看護方法 I			担当教員	専任教員、外部講師		
使用テキスト	1) メディカ出版 在宅看護論 ①地域療養を支えるケア 2) メディカ出版 在宅看護論 ②在宅療養を支える技術						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医学書院 専門分野 基礎 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の基盤 2) 医学書院 専門分野 基礎 地域・在宅看護論 地域・在宅看護の実際 3) メディックメディア 写真でわかる訪問看護アドバンス						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>在宅・地域での看護師の役割・機能について学ぶ。その人らしく日常生活が過ごせるよう、在宅での日常生活援助や教育的関わり、訪問の際の基本姿勢について理解できるようにする。</p> <p><u>到達目標</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅における援助技術について理解できる。 2. 在宅におけるリスクマネジメントについて理解できる。 3. 訪問に向けた接遇、面接技法について理解できる。 4. 在宅における指導的関わりのポイントについて理解できる。 5. 福祉用具の活用について理解できる。 							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：基礎看護技術, 人間関係論, 老年看護方法 I, 地域・在宅看護概論, 地域・在宅看護技術						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	在宅における援助技術—生活ケアの援助 食のアセスメントと援助	
2	在宅における援助技術—生活ケアの援助 排泄のアセスメントと援助	
3	在宅における援助技術—生活ケアの援助 清潔のアセスメントと援助	
4	在宅における援助技術—生活ケアの援助 移動のアセスメントと援助	
5	在宅における援助技術—生活ケアの援助 呼吸のアセスメントと援助	
6	在宅における援助技術—生活ケアの援助 食のアセスメントと援助	
7	在宅における援助技術—医療的ケアの援助	
8	在宅看護における安全と健康危機管理	
9	訪問に向けた接遇と面接技法 ・マナー	
10	・初回訪問時の注意点 ・面接、コミュニケーション技術	
11	在宅での指導技術 ・指導技術の基本	講義・演習
12	・社会資源活用に関する家族への指導の実際	
13	福祉用具の活用 ・物品の種類	老年看護学で介護す まいる館見学のレポ ート使用
14	・物品と環境、利用目的 ・対象に応じた物品の選定 ・介護すまいる館見学のレポートを振り返りグループワーク	
15	終講試験	